

F's Report

— vol.1 —

2019(令和元)年11月

地域の声を市政に!

福岡市議会 議員 東区

自民党 **新**福岡

ふじの哲司

ご挨拶

福岡市議会議員の藤野哲司です。この度の台風19号により被災された方にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心より祈念致します。平成31年4月の福岡市議会議員選挙(東区)におきまして、初当選をさせて頂きました。改めまして感謝申し上げます。その時に皆様方にお約束しました、地域の皆様の声を市政のど真中にお届けするというのを念頭に、日々活動させて頂いております。

さて、時代は平成から令和へと変わりましたが、東区も時代の転換期を迎えています。

より良いまちづくりをしていく為にも、皆様のご意見をお聞かせ頂けましたら幸いと思っております。この4年間、皆様から頂いた任期を精一杯全うして参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

藤野 哲司

略 歴

- 昭和56年 東区箱崎に生まれる
- 平成元年 福岡市立箱崎幼稚園卒業
- 平成6年 福岡市立箱崎小学校卒業
- 平成9年 福岡市立箱崎中学校卒業
- 平成12年 福岡県立光陵高等学校卒業
- 平成16年 福岡大学法学部経営法学科卒業
- 平成16年 日栄通信工業株式会社入社
- 平成25年 福岡県議会議員東区 長裕海 秘書
- 平成31年 福岡市議会議員選挙 初当選

常任委員会 / 特別委員会 / 協議会

- 常任委員会
福祉都市委員会
- 特別委員会
都市問題等調査特別委員会
- 協議会
九州大学移転・跡地利用対策協議会
副会長

役 職

- 東消防団箱崎分団 分団員
- 福岡市消防太鼓会 会員
- 箱崎まちづくり委員会 委員
- 箱崎交通安全推進委員会 理事
- 東福岡交通安全協議会箱崎支部 理事
- 箱崎校区体育協会 理事
- 一般社団法人福岡青年会議所 会員

通学路の点検を副市長へ要望



博多どんたく



G20 財務大臣・中央銀行総裁会議 6/8・9



ラグビーワールドカップ



議 会 報 告

令和元年9月13日、初めて一般質問に立たせていただきました

九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりについて

◆九州大学は、平成3年の決定以来進めてきた本市西区、伊都キャンパスへの統合移転事業を平成30年9月に完了しました。同年7月には、周辺4校区の地域の代表の方々も入った跡地利用協議会において意見を伺いながら、九州大学箱崎キャンパス跡地グランドデザインが策定され、多様な都市機能の誘導と周辺地域との調和に配慮したまちづくりに向け、その方向性が示されたところですが、箱崎の地で生まれ育った私としては、跡地まちづくりへの期待の一方で、箱崎キャンパスから学生、教職員が移転していくと、まちの活気は徐々に失われてきたように感じられ、大学のまちであった箱崎は新しい時代を迎え、次の100年に向けた分岐点に立っていると感じております。

そしてグランドデザインにおいて、広大な敷地や交通といった強みを生かし、最先端の技術革新の導入などによる快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出し、未来に誇れるモデル都市、FUKUOKA Smart EASTという視点でまちづくりを推進していくことが示されています。

また、箱崎キャンパス跡地はJR箱崎駅、地下鉄箱崎九大前駅、西鉄と地下鉄の共同駅である貝塚駅という3つの駅が近くに位置しております。やはり跡地まちづくりを考える際、これらの駅を中心とした視点が重要だと思えます。

Q そこでまず、貝塚駅周辺のまちづくりについてお尋ねいたしますが、土地区画整理事業とあわせて貝塚公園を再整備するこ



とと思いますが、どのような再整備をするのでしょうか、お尋ねいたします。

A グランドデザインにおきまして、憩い、にぎわい、交流機能のある駅前空間を創出するため、再整備することといたしております。箱崎キャンパス跡地の北の玄関口として、開園時間も含めまして、より多くの市民が使いやすい駅前空間となるよう再整備にしっかり取り組んでまいりたいと思っております。

Q 次に、箱崎九大前駅の駅前空間の位置づけですが、駐輪場のあり方を含め跡地の中だけではなく、駅からの動線を意識した一体的な整備が必要と思われそうですが、御所見をお尋ねいたします。

A 箱崎九大前駅周辺につきましては、跡地のまちづくりにおいて、まちの顔としてふさわしい空間となるよう安全で快適な歩行者空間を確保するとともに、さまざまな人が利用し、交流する空間の創出ができるよう広場等のオープンスペースを適切に配置してまいります。また、駐輪場を含む駅周辺につきましても、跡地のまちづくりとの連携を関係局と検討してまいります。

Q 箱崎キャンパス跡地内に2本の道路が都市計画決定されています。市の道路ネットワークを担うもので、東西南北の市街地を結ぶ幹線道路であり、50haの広大なまちづくりを行うに当たって、その骨格となるものだと思いますが、都市計画道路整備の進捗状況についてお尋ねいたします。

A 施行者でありますUR都市機構が都市計画道路事業の国土交通大臣承認を平成30年に取得し、現在、測量等を進めております。今年度は引き続き測量等を進めるとともに、令和元年の秋ごろからは道路用地の一部取得などが予定されているところでございます。

Q 都市計画道路の整備に当たっては、九州大学箱崎キャンパス以外にも用地買収が必要となり、御協力いただく住民の皆様のために、代替地を確保するなど生活環境への配慮が必要だと感じますが、御所見をお尋ねいたします。

A 代替地につきましては、御指摘の箱崎キャンパス跡地周辺にあります九州大学の所有地であります職員会館や生協の跡



地などの活用も含めまして、九州大学等と調整をしっかりと進めてまいります。

Q 跡地のまちづくりにあわせて道路を拡幅して歩道の整備などは行われたいでしょうか。

A 跡地に接する道路につきましては、今後予定しております開発行為や土地区画整理事業の中で歩道を設置するなど、安全、安心な道路空間の整備を予定しています。

◆箱崎キャンパス跡地南側は箱崎の伝統的な町家を残すまち並みに接しているため、周辺地域との調和に配慮するとともに、周辺地域と一体的な発展ができるよう、引き続き九州大学などとともに、検討をお願いしたいと思います。

Q 今後、九州大学箱崎キャンパス跡地利用に当たって、これまでの歴史を踏まえ、周辺地域と一体的に発展しながら100年後の未来に誇れるまちとなるよう、福岡市のまちづくりに取り組む高島市長の決意をお伺いします。

A 高島市長 九州大学箱崎キャンパス跡地につきましては、藤野議員が言われますとおり、地域とともに歩んできた九州大学100年の歴史を継承していくことが重要と考えています。今後、少子・高齢化の進展によって大きく社会の人口の構成が変わるなど、社会のあり方が変わってくる中で、さまざまな社会課題を解決し、持続可能な社会を実現していくためには、先端技術なども積極的に活用していくことが大切であるというふうに考えています。真っさらの土地にベースの基礎インフラから、一からデザインできる今というものは、その大きなチャンスであると考えています。この機を逃すことなく、先進的なまちづくり、FUKUOKA Smart EASTの実現に向けて、地域を初め、九州大学などの関係者と連携をし、未来に誇れるまちづくりにしっかり取り組んでまいります。

ふじの哲司市政相談所

〒812-0053 福岡市東区箱崎2-16-48

TEL 092-643-5200 FAX 092-643-5300

E-mail tetsushi.fujino@gmail.com

